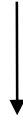


行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	港湾における水質予測手法等の検討に必要な経費		事業開始年度	平成21年度		作成責任者
担当部局庁	港湾局		担当課室	国際・環境課		課長 塩崎 正孝
会計区分	一般会計		上位政策	海洋・沿岸域環境や港湾空間の保全・再生・形成、海洋廃棄物処理、海洋汚染防止を推進する		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境基本法 第16条		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「第7次水質総量削減の在り方について(平成22年3月中央環境審議会答申)」において、「底層DO(溶存酸素)及び透明度について環境基準化を見据えた検討を行うことが必要である。」とされており、今後、環境基準化に向けた検討が環境省で進められる。このため、港湾においても底層DO及び透明度に関するデータ整備状況や調査・予測手法について情報収集を行うとともに、これらの実施手法について検討を行う。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	港湾における底層DO及び透明度に関して、港湾におけるデータ整備状況の現状を把握するとともに、各々の調査手法や予測手法に係る学術論文や調査実施事例等の知見の資料収集整理を行い、港湾の水質の現況調査手法及び水質の予測手法の検討を行う。					
実施状況	平成21年度に、底層DO及び透明度の調査手法や予測手法に関する知見の資料収集及び港湾における底層DO及び透明度のデータ整備状況の現状把握を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	4	4	-
	執行額	-	-	4		
	執行率	-	-	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	港湾局が自ら契約等を行う業務であることから、支出先や用途については全て把握している。また、支出にあたっては検査等を行い実施内容の確認を行っている。				
	見直しの余地	本事業については、平成22年度に底層DO及び透明度の調査実施手法の検討結果を得て、事業の目的を概ね達成するものと見込まれることから、今後は検討結果より得られた調査実施手法の活用のための取り組みを進めるものとし、本事業については廃止を含めた見直しを行う。				
予算・監査・視の・効率化	【事業廃止】 本事業については、平成22年度までの検討成果をもって、事業目的の達成が見込まれており、今後の活用方法についても一定の目途が立っていることから、来年度以降の実施の必要性が認められないため、今年度限りで事業を廃止する。					
補記	【予算科目】 ・008 海洋環境対策費 ・95 海洋・沿岸域環境の保全等の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額) ・95016-2123-09 海洋環境対策調査費 4百万円 4百万円					

国土交通省
4百万円

底層DO及び透明度の調査・予測・評価手法に関する企画立案及び発注業務



【一般競争入札】

(株)日水コン
4百万円

底層DO及び透明度の調査・予測・評価手法に関する資料収集整理業務を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて捕捉する)
(単位:百万円)

(株)日水コン					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
調査費	底層DO及び透明度の調査・予測・評価手法に関する資料収集整理業務	4			
計		4	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)